

Sustainable Report No.064

森林伐採を防ぐ ペーパーレス

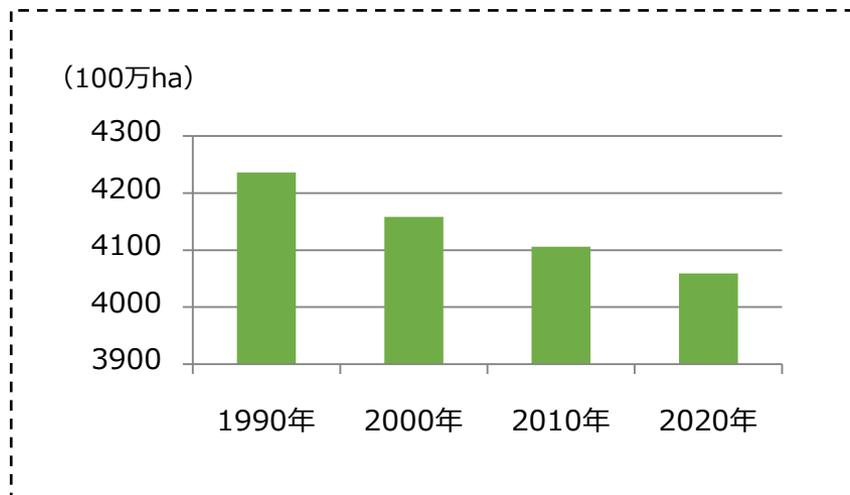


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

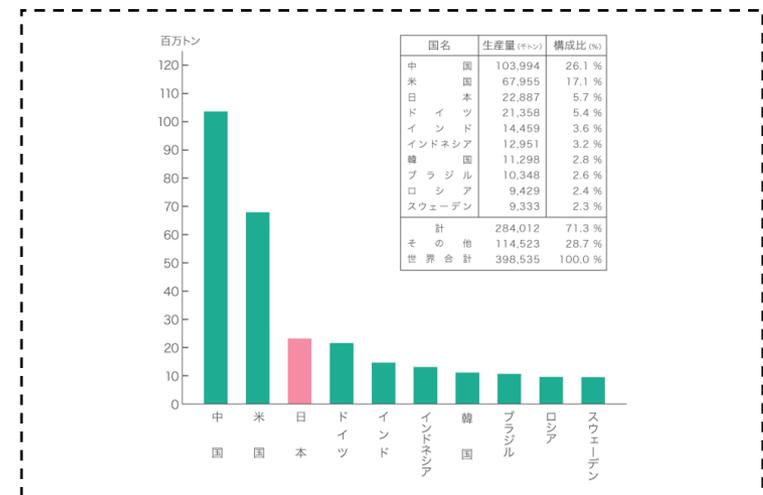
- 世界の森林面積の減少は著しく、1990～2020年に日本の国土面積の約5倍にあたる**1億7,800万ヘクタールが減少**。生物の住処が失われ、1970～2016年の間に**世界の脊椎動物の68%が減少**した。
- 2020年に世界で3億トン以上もの紙・板紙が生産され、日本は**第3位にあたる2,300万トン生産**。自然再生が追い付かない過剰伐採や、紙の原料となる木の植林のために森林が失われている。
- 野生生物の絶滅は、2021年時点で**4万84種が危機状態**であり、20年間で4倍に増加した。さらに、未発見の種も今後30年間で**10～20%にあたる300～600万種が絶滅する**と推測される。

■ 世界の森林面積の推移 1990-2020



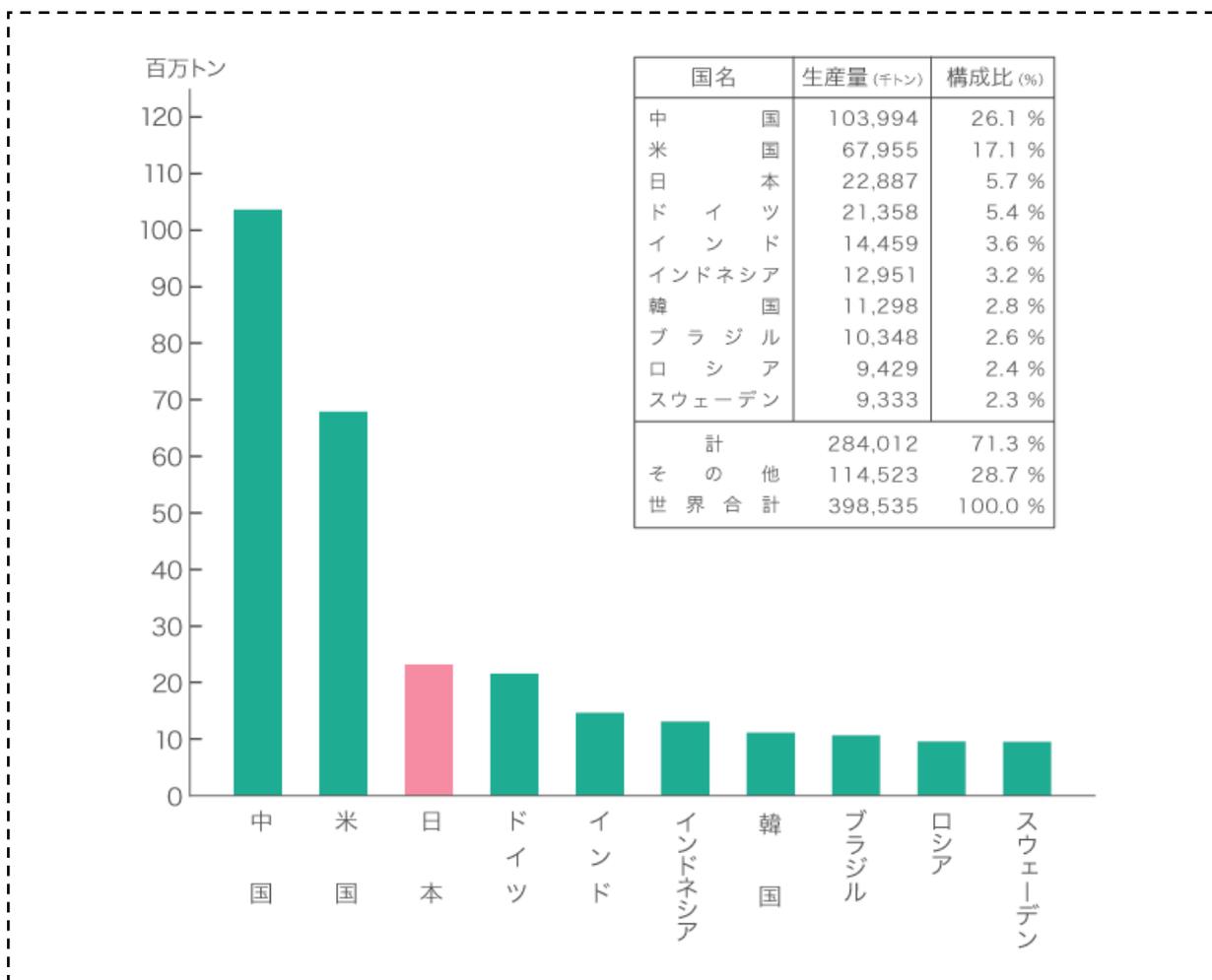
出典：国際連合食糧農業機関の公表資料をもとに筆者作成

■ 世界の紙・板紙生産量 (P.3参照)



出典：RISIAニューアル・レビューをもとに日本製紙連合会作成

▶ NEXT : JAきたそらちの書類の電子化



出典：RISIアニュアル・レビューを元に日本製紙連合会作成

■ 実行者／解決方法／残る課題

- JAきたそらちは、2000年設立の北海道中央部の1市3町を区域とする広域JA。年間20回以上の定例会議の資料に、**約8万枚の膨大な紙資源の消費と作業量**、それに伴うコストに課題意識を持っていた。
- 2020年にタブレット型PCと「SideBooksクラウド本棚」を導入し、文書をクラウド上で共有。**めくる、メモするなど紙と同じような操作**で、ICTに不慣れな年配の従業員でも扱いやすく電子化を実現。
- 2022年の調査では、東京の企業のうち「**2022年にペーパーレス化を推進した**」のは**52.4%**で、大企業が最も多く集まる地域でも半数はまだ取り残されている。

■ ツール導入後、初めて開催された理事会の様子



出典：左右ともに東京インタープレイ株式会社

■ 「SideBooksクラウド本棚」イメージ



▶NEXT：複数企業が協力するムーブメントへ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

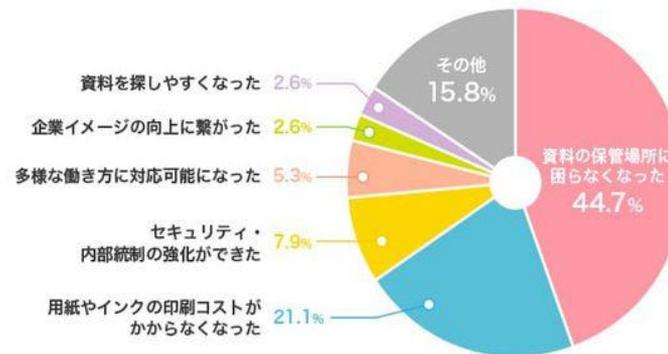
- 全国への拠点展開や多種多様な業界とのやり取りなど、**複数の事業所を取りまとめている企業や団体**ではペーパーレスを進めにくいのではないかと。
- **関わる事業所を巻き込んで協力**してもらい、一緒にペーパーレス化を進めることが理想である。
- **複数の企業によるプロジェクトを立ち上げ**、1社分よりも大きな効果を世の中に発信でき、ツール情報や好事例を共有して助け合える関係を強みに協力を仰ぎ、ペーパーレス化のムーブメントを作る。

■ ECを軸に事業展開する株式会社シー・コネクトによる企業アンケート調査

ペーパーレス化は必要だと思う？



ペーパーレスになってよかった点



出典：左右共に株式会社シー・コネクト

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 農林水産省,「世界森林資源評価 (FRA) 2020 メインレポート 概要」 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/attach/pdf/index-5.pdf>)
- 国際連合食糧農業機関 (FAO),「FAO Yearbook of Forest Products 2017」,2019年10月10日 (ペーパーバック)
- WWFジャパン,「過去50年で生物多様性は68%減少 地球の生命の未来を決める2020年からの行動変革」,2020年9月10日 (<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/4402.html>)
- WWFジャパン,「森林保全と持続可能な紙利用」,2020年6月30日 (<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/1382.html>)
- 山陽製紙株式会社,「紙の製造と日本の森林環境問題の関係は?豊かな未来のためにできる行動とは」,2022年9月12日 (<https://www.sanyo-paper.co.jp/column/article/5120.html>)
- 日本製紙連合会,「世界の中の日本」,2022年11月17日参照 (<https://www.jpa.gr.jp/index.php>)
- 朝日新聞,「生物多様性の深刻な危機、絶滅危機種が4万種超に WWFと考える～SDGsの実践～【2】」,2022年2月15日 (<https://www.asahi.com/sdgs/article/14543737>)
- 東京インタープレイ株式会社,「SideBooksクラウド本棚ユーザーレポート JAきたそらち編」,2020年9月9日 (<https://sidebooks.jp/case-study/report.php?date=2020-09-09&name=kitasorachi>)
- 東京インタープレイ株式会社,「sidebooksクラウド本棚」 (<https://sidebooks.jp/>)
- 株式会社シー・コネクト,「2021年度を振り返って“ペーパーレス化”は現状どうなっているのか。 インク革命.COMがペーパーレス化の実態調査を実施!」,2022年9月15日 (<https://ink-revolution.com/index.php/212-42.html>)
- ペーパーロジック株式会社,「【東京の企業の「ペーパーレス化」に関する2023年度予算は?】52.4%が「2022年にペーパーレス化」を推進、引き続き62.5%が「2023年度に予算配分」を予定・検討」,2023年2月14日 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000079.000023701.html>)
- 中小企業庁,「都道府県別規模別企業数」,2022年4月 (<https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2022/chusho/f6.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。